

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 火曜・2校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	人間と環境 -環境認知、微生物環境、放射線環境- (Human and Environment -Perception, Microorganisms and Radiation-)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 1・2年次	科目分類 人間科学科目		
担当教員：松田尚樹/Eメールアドレス：nuric@nagasaki-u.ac.jp/研究室：先端生命科学研究支援センター・アイトープ 実験施設 /TEL：095-819-7150/オフィスアワー：毎週火曜日午前9時～10時			
担当教員(オムニバス科目等)	浦田芳重(医学部)、竹下哲史(共同研究交流センター)		
<p>授業のねらい/授業方法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい： 生物は誕生から死まで様々な刺激を環境から受け、対応しながら生きている。また日常の生活において、微生物及び放射線・紫外線は我々が避けることのできない環境中の因子である。本授業では、ヒトが環境を認知する仕組みについて総論的に理解した後、微生物環境及び放射線・紫外線環境と人間生活の関係について知識を深める。</p> <p>授業方法： 3名の教員が分担し、ビデオ及びPCを用いて講義を行う。</p> <p>授業到達目標： (1) 環境認知：ヒトの成長に沿って作られていく体と心の仕組みを映像的に理解し、ヒトがどのようにして環境からの情報を処理し対処しているのかを知ることにより、人間と環境の関係について論理的に考察できるようにする。 (2) 微生物環境：人間や環境と、微生物との関わりを学ぶ。さらに、微生物は人間にとって有害であるということが強調されがちであるが、大部分の微生物は動物や植物の生活環境を支え、人間にとっても必要不可欠な協力者になっていることを理解する。 (3) 放射線環境：放射線と紫外線の基礎、人体に及ぼす影響、およびその防護体系・防護法について学び、放射線と紫外線の害と恩恵について、正しい知識に基づき自分の考えを導くことができるようにする。</p>			
<p>授業内容(概要)</p> <p>ヒトによる環境の認知についてまず基礎を概説し、次いで微生物及び放射線・紫外線とヒトや環境とのかかわり、健康への影響、及びその対処等について各論を述べる。</p> <p>【環境認知・浦田】 第1回(10月6日) いのちの誕生 第2回(10月13日) はじめての冒険 第3回(10月20日) 悩める10代 第4回(10月27日) 脳の神秘 第5回(11月10日) 老いを生きる</p> <p>【微生物環境・竹下】 第6回(11月17日) 微生物とは 第7回(11月24日) くらしと微生物 第8回(12月1日) 環境における微生物の役割 第9回(12月8日) 環境浄化と微生物 第10回(12月15日) 人間と微生物</p> <p>【放射線環境・松田】 第11回(12月22日) 放射線と紫外線の基礎 第12回(1月12日) 放射線影響 第13回(1月19日) 紫外線影響 第14回(1月26日) 放射線と紫外線の防護</p> <p>第15回(2月9日) 授業の総括(試験含む)</p>			
キーワード	脳、老化、微生物、放射線、紫外線		
教科書・教材・参考書	教科書は用いず、授業計画に沿ったプリント資料を配布する。参考文献は適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等	○定期考査90%、授業中の課題に対する積極的な取り組み状況10%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	脳、微生物、放射線・紫外線に関連する新聞記事、ニュース等を読んでおくこと。		